

A Japanese T_EX system for Linux Zaurus

Hiroshi Maruyama

2006.11.01

警告

このディスクイメージは、個人利用を目的として **Sharp Linux Zaurus SL-C シリーズ**向けに構築したものです。必ずしも安定動作を保証するものではありません。この点を納得した上で、各自の自己責任でご利用下さい。

1 ptetex - teTeX 用日本語パッチ集

このディスクイメージ (cramfs) は、土村 展之氏が “ptetex - teTeX 用日本語パッチ集^{*1}” で公開している、パッチ群とコンパイルスクリプトを利用して構築した Sharp Linux Zaurus 用の T_EX 環境です。

2 パッケージ構成

- ディスクイメージ (cramfs) - ptetex3-YYYYMMDD-X.img
- GnuPG による署名^{*2} - ptetex3-YYYYMMDD-X.img.sig^{*3}
- README(このファイル) - ptetex3-jp.pdf
- README(英語版) - ptetex3.pdf

3 インストール

同梱されているディスクイメージを、適当な場所 - 例えば /hdd3 や /mnt/card - に配置して、以下のよう
にマウントしてください。ただし、マウント先には、必ず ‘/usr/local/teTeX’ を指定してください。

```
$ su -  
# mkdir /usr/local/teTeX  
# mount -t cramfs -o loop /hdd3/ptex3-20060907-1.img /usr/local/teTeX  
# exit
```

^{*1} <http://www.nn.ij4u.or.jp/~tutimura/tex/ptetex.html>

^{*2} fingerprint: FD37 E25F AE69 EFC5 1099 1E54 176A 299E 85C0 3486

^{*3} 公開鍵 (85C03486) は <http://www.focv.com/maru.asc> にあります。

```
$ export PATH=/usr/local/teTeX/bin:$PATH
```

4 コマンド群

ディスクイメージをマウントして、利用可能になるコマンド群とスタイルのバージョンは下記の通りです。バージョン番号が書かれていないものはインストールされません。

```
kpsewhich= 3.5.4
tex       = 3.141592 (Web2C 7.5.4) (kpathsea 3.5.4)
ptex      = 3.141592-p3.1.10 (euc) (Web2C 7.5.4) (kpathsea 3.5.4)
dvips     = 5.95b p1.7a (Japanese ok)
pdvips    =
xdvi      =
pxdvi     =
dvipdfm   = 0.13.2c
dvipdfmx  = 20050831 (Japanese ok)
mendex    = 2.6d
jmpost    = 0.641-0.04 (euc) (Web2C 7.5.4) (kpathsea 3.5.4)
gs        =

jsclasses= 060212
utf       = v1.8.6.1
otf       = v1.2.8
```

5 利用方法

```
$ platex hogehoge.tex
$ dvipdfmx hogehoge
```

などとして、DVI ファイルや PDF を作成してください。

なお、デフォルトでは日本語フォントは埋め込まないようにしています。必要に応じて、埋め込む日本語フォントを用意した上で、`dvipdfmx` にオプションを与えてください。

6 依存するもの

ディスクイメージ以外に、別途必要になるライブラリやコマンド類はありませんが、フォント埋め込みの PDF を作成する場合は、埋め込む日本語フォントが必要になります。このディスクイメージが想定している

フォントの所在は、`‘/opt/QtPalmtop/lib/X11/fonts{TTF,TrueType,opentype}’` となっています。^{*4}

例えば、`‘/opt/QtPalmtop/lib/X11/fonts/opentype/’` にヒラギノフォントや小塚フォントを配置するか、`‘/opt/QtPalmtop/lib/X11/fonts/TrueType/’` に IPA フォントを配置すると、`dvipdfmx` に下記のようなオプション^{*5}を指定することで、日本語フォントを埋め込むことができます。

ex.

```
$ platex something.tex
$ dvipdfmx -f ptex-hiragino.map -f otf-hiragino.map \
-f utf-hiragino.map something.dvi
$ xpdf something.pdf
```

なお、ディスクイメージ作成時には、下記のようなディレクトリ構成でフォントを配置しています。

```
/opt/QtPalmtop/lib/X11/fonts/TrueType/ipag.ttf
/opt/QtPalmtop/lib/X11/fonts/TrueType/ipagp.ttf
/opt/QtPalmtop/lib/X11/fonts/TrueType/ipagui.ttf
/opt/QtPalmtop/lib/X11/fonts/TrueType/ipam.ttf
/opt/QtPalmtop/lib/X11/fonts/TrueType/ipamp.ttf
/opt/QtPalmtop/lib/X11/fonts/TrueType/msgothic.ttc
/opt/QtPalmtop/lib/X11/fonts/TrueType/msmincho.ttc

/opt/QtPalmtop/lib/X11/fonts/opentype/HiraKakuPro-W3.otf
/opt/QtPalmtop/lib/X11/fonts/opentype/HiraKakuPro-W6.otf
/opt/QtPalmtop/lib/X11/fonts/opentype/HiraKakuStd-W8.otf
/opt/QtPalmtop/lib/X11/fonts/opentype/HiraMaruPro-W4.otf
/opt/QtPalmtop/lib/X11/fonts/opentype/HiraMinPro-W3.otf
/opt/QtPalmtop/lib/X11/fonts/opentype/HiraMinPro-W6.otf
/opt/QtPalmtop/lib/X11/fonts/opentype/KozGoPro-Medium.otf
/opt/QtPalmtop/lib/X11/fonts/opentype/KozGoStd-Regular.otf
/opt/QtPalmtop/lib/X11/fonts/opentype/KozMinPro-Regular-Acro.otf
/opt/QtPalmtop/lib/X11/fonts/opentype/KozMinProVI-Regular.otf
```

7 公開場所および質問など

<http://www.focv.com/ipkg/> で公開しています。

^{*4} 詳しくは、各ディレクトリ直下のシンボリックリンク先を確認してください。

^{*5} `-f {ptex,utf,otf}-{hiragino,kozuka,ipa}.map` が利用できるはずですが。

追加情報を <http://tty0.exblog.jp/> に出すこともあります。また、質問はメール^{*6}でお願いします。

8 参考

Ghostscript や xdvi は含まれていませんが、Linux Zaurus 上の X11 環境である X/Qt Server^{*7} で動作する Xpdf 3.01p12 を別途用意しています。dvipdfmx で PDF を作成して Xpdf で確認してください。

ただし、Xpdf に必要なパッケージ群 (xpdf-langs, urw-fonts, lesstif) の他に、日本語 OpenType フォントを導入する必要があります。適宜、ヒラギノや小塚などの OpenType フォントをインストールしてください。また、Linux Zaurus の標準環境では /tmp が 1 MB に制限されているため、tmp が溢れてしまうことがあります。それなりのサイズの PDF を表示させる場合は、tmpfs のサイズを拡張することを強くお奨めします。

謝辞

膨大な日本語 T_EX パッチをまとめただけでなく、コンパイルスイートとしてスクリプトなどを公開している土村氏、「Sharp Zaurus SL-C750/SL-C760 で pT_EX」^{*8} において同様に、pT_EX のディスクイメージを公開している牧野貴樹氏、両氏に多大な感謝をしたいと思います。

最初は、X/Qt2 上での T_EX 環境を目指したのですが、クロスコンパイルの複雑さに挫折しました。Xdvi を期待していた方、ごめんなさい。Ghostscript が必要な方は、牧野氏のディスクイメージをお使い下さい。

^{*6} <mailto:maru@focv.com>

^{*7} <http://xqt.sourceforge.jp/>

^{*8} <http://www.snowelm.com/~t/doc/tips/20031120.ja.html>